

「道民カレッジ」で生涯学習を実践。

丸川テルさん・和宏さん親子(春日町)

丸川さん親子は、北海道が行っている「道民カレッジ」に入学し、各種大学の公開講座や、研究機関・市町村が行う講座に参加、生涯学習を実践して9月に道民カレッジ修士、学士の称号を取得しました。健康スポーツ・能力開発・環境生活などのコースから学びたい講座を見つけ自分達にあったペースで受講し、見聞を広げている2人です。



2人が通う「道民カレッジ」は、(財)北海道生涯学習協会が行っている生涯学習の場で、道内各地のあらゆる機関と連携し、道民に学習の機会を提供しています。

自分にあった講座内容や会場を、道内各地から自由に無理なく選び受講することで単位が取得でき、テレビ講座を視聴してレポートを提出することでも単位を得ることができます。全道から学びたいと思う幅広い年齢層の人が、自分のペースに合わせて受講しています。

和宏さんは、主に環境生活コースを受講し、昨年100単位となり「道民カレッジ学士」に、今年は200単位を取得し、「修士」の称号を北海道知事から授与されました。テルさんは、今年100単位で「学士」を取得し、2人は当別町から初めての認定者となります。

二人が受講を始めたきっかけは、和宏さんが道民カレッジの放送をよく視聴していたのと、以前から何かを学びたいと思う気持ちで昨年の春に入学。テルさんは、息子さんに付いて行った道医療大学の講座「薬草園を見る会」で、同席した人に刺激を受け入学しました。

「自分に近い年齢の人が受講しているのを見て、私にもやれるかもしれないと思ったんです。自分が元気でいられるために通っています。いろんな先生のお話が聞けてとても楽しいです」と話すテルさんは大正9年生まれの83歳。まだまだ学習意欲は衰えません。

2人がよく参加しているものに、道医療大学の講座があります。現在は、学生と一緒に公開講

義の「総合科目」を受講中で、主に健康科学についてのお話です。

9月から週1回、11回の講義を休むことなく通っています。「他の用事もあるけれど、講義を優先しています。一度聞いても右から左に抜けちゃうし、難しい言葉もわからないけど、感銘を受ける話が多くて休むことができないですね」とテルさん。

また、「テレビの講座を見てレポートを提出するのですが、書いていると長くなっちゃってまとめて書くことは難しいですね」と話す和宏さんは、時には悩むこともあるようです。

1回に2時間から3時間の講義を受けている丸川さんですが、受けているうちに興味が湧いてきて、次の講座を選ぶのが楽しくなってくるころは、まさに生涯学習を実践しています。

「聞くことが好きだから続けられるんだと思います。当別でも医療大や教育委員会でやっている講座などにたくさんの方が参加して聞くといいのになぁと思います。以前に受けた講座の中で見せてもらったアメリカ映画には、100歳を超える女性が若々しく生活していてとても印象的でした。私もそうありたいと思っています。講座を受けるようになってから前向きになったし、自分の考えも言えるようになった気がしますね」と明るく話すテルさんは、これからも和宏さんと講座を受け、自分に磨きをかけることでしよう。

◆道民カレッジの問い合わせ先
道民カレッジ事務局(☎011-231-4111・
内線36-343)へ。